



虫歯予防は、乳歯の時から歯磨きの習慣を付けておかなければならないようにカラダの健康の基盤も子ども時代に身に付けておく必要があります。

子ども時代は、毎日、毎分、毎秒膨大な新しい細胞が生まれ育ちます。新陳代謝の著しい細胞には新鮮な血液が必要であり、この血液の流れをスムーズにしたり手助けするのが運動です。

子どものカラダにとって運動は、ビタミンや炭水化物、鉄分と同じように大事な栄養素なのです。

いずれにしても運動は、成長期の子どもにとって身心両面で必要不可欠です。幼児期から身に付けましょう!

4日間 春休み短期教室 募集開始!
※詳細は、別紙参照。定員になり次第締め切り。

【まっく寺子屋子育て講座】
向井によるお母様方への子育て講座です。
日時 2月22日(金) 10~11時
テーマ 「親の言うことをきく子どもの育て方」
お申込み 電話、メールまたは体操時に。



2月 鉄棒&ボール運動スタート!



3月 鉄棒 苦手を得意に変えよう!

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28		

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

- ★2月のお休みは、ありません。
- ★お休みした分の振り替えは、その月内でお越しください。振り替え日や欠席のご連絡は必要ありません。

- ★21日(木)は、祝日でお休みです。
- ★29日(金)・30日(土)は、5週目でお休みです。
- ★木曜クラスの方は、一回分を振り替えてお越しください。

生まれ順別 新環境への適応法 代表 向井忠義

いよいよ新学期、期待も大きいですが心配も尽きないのが親心ではないでしょうか。特に最近は携帯電話の普及や子ども社会複雑化でいじめの種類や方法が変化し大人の対応や解決策が難しくなっています。

そこで、まっくが得意とする「生まれ順別性格」で我が子が新しい環境の中でどのように行動するか、集団にどのように適応していくかなどを知ることで、トラブルの予防をしたり、解決への対策が見えてくる場合があります。以下に、その事例をあげます。

1. 第一子の新環境への適応法(一番上・一人っ子)
第一子は内弁慶です。新しい環境に、慣れたり、自分を発揮するまでには時間がかかるタイプです。直ぐには自分を出せないことで他の子に「気の弱い子だ」とか「あまり自我を出さない子だ」と思われやすく上から視線で接してくる子もいます。
最初からいい子ぶったりおとなしく振る舞うと返って不利になる場合があります。「間違いを恐れず」ここはと思ったときは自分の意見を言うチャレンジをした方がいい結果に繋がります。逆に初期に第一子の特徴である「自己中心型の性格」が出ると嫌がられるかも知れません。

2. 中間子の新環境への適応法(上下に兄弟姉妹がいる子)
根暗で自己表現が少ないことが多いので「いじめられやすいタイプ」ともいえます。しかし、半面「八方美人的なところ」があり「笑いをとれる対応」が出来ると人気者になる可能性もあります。

芯が強く苦勞をあまり気にしないので、心配だからと先回りして対策を立てるより「いよいよとなったら助け舟」でもいいかもしれません。とにかく、何事に対しても「自分を曲げず」マイペース型なので苦勞も「いい体験になる」的な発想で見守ってあげてください。

3. 末っ子の新環境への適応法(二人以上の一番下)
明るく活発に行動するタイプなので外から見ると何を考え何をしたいのかが分かりやすいので周りから「腹を探られる」ようなことはありません。そういう性格なので周りも本人も自分の感覚に合えば直ぐに馴染みますが、人によっては何か違和感を持ちうまくいかない場合がありますが、かなりのショックを受けても3日もすればケロッとしているので大丈夫です。

いずれにしても、親は常に子どもが新環境で感じたことの聞き役になってください。しかし、お母さんは決して「裁判官」にならないこと。

